

蒼でおる 牛頸ぬ花 里山に咲 へのお誘い

牛頸里山【春の花 蒼】をご案内致します。
今からご覧 頂く『蒼』を撮影している時にふと思いつきました。
今の沖縄が琉球王国であった16～17世紀ころ王様に献上された
詩があります、この詩は300年経った今でも沖縄県民みんなが詠い続け
ています、この詩は『かぎやで風節』と申します、お祝いの席等で開宴時に
おどり（組踊）と唄 三線で披露されます。
この蒼を見ていると牛頸地区が日々発展して行く姿がみえてくるようです。
このホームページをご覧の皆様も明日への夢を描きながら健康で楽しく
この牛頸の地でお過ごし下さい。
是非 詩も詠んで頂き よき琉球王国時代を創造して頂ければ幸いです。
尚詩の解説は (株)沖縄教販 大城米雄著 沖縄三線 節うたの読み方 より抜粋致しました。